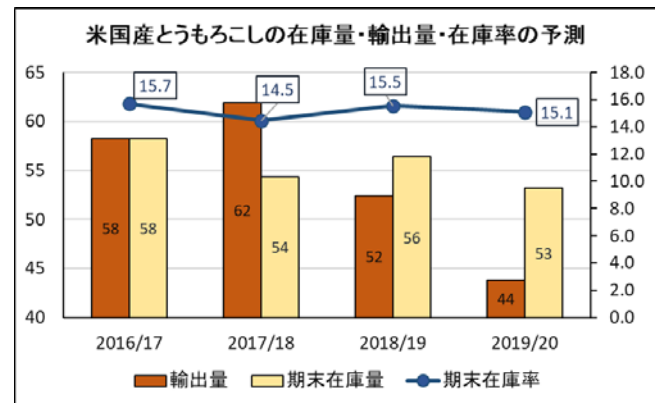
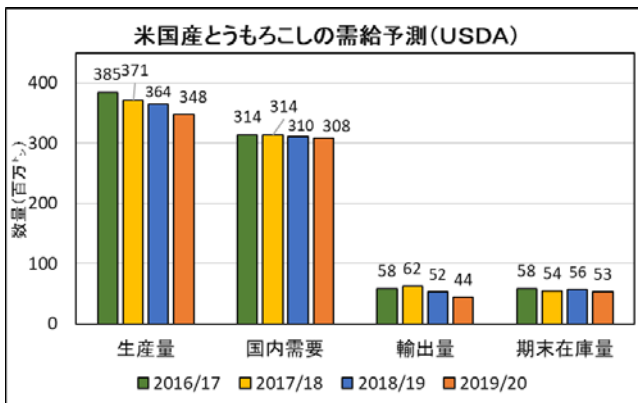


飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について（令和2年4月）

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの2019/20（令和元年9月～2年8月）年度の需給予測

【生産量】	3億4,780万ト	(前月同予測)
【単収】	10.54 ト/ha	(前月同予測)
	(168.0 ブッシェル/エーカー)	
【国内需要量】	3億0,837万ト	(前月予測比：▲521万ト)
【輸出量】	4,382万ト	(前月同予測)
【期末在庫】	5,317万ト	(前月予測比：+508万ト)
【期末在庫率】	15.1%	(前月予測比：+1.6%)
		(世界の期末在庫率 26.8%)



(2) 飼料穀物（シカゴ）相場及び為替相場の状況等

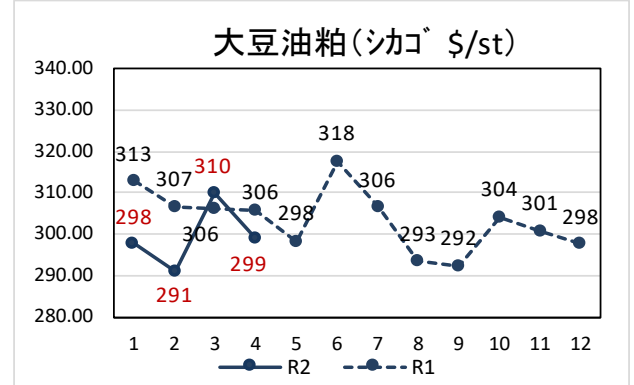
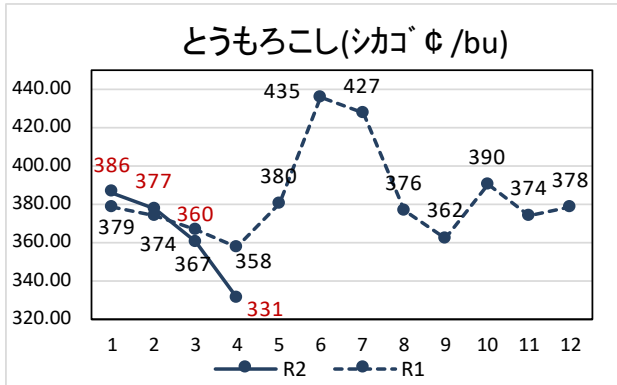
区分/月平均	12月	R2.1月	2月	3月	4月	
とうもろこし（¢/ブッシェル）	377.9	385.7	377.5	359.9	331.4	↓
大豆油粕（ドル/ト）	297.6	297.5	290.9	309.8	299.0	↓
為替相場（円/ドル）	109.0	109.3	109.5	108.0	108.7	↑
フレート（ドル/ト）	49.9	51.2	48.4	48.4	42.2	↓

資料：飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(R2.4.13)までの平均値

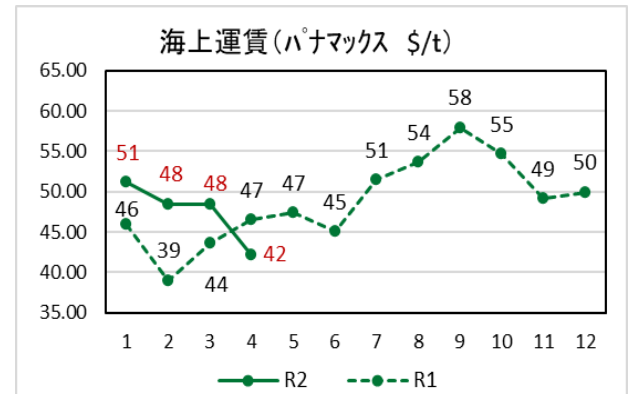
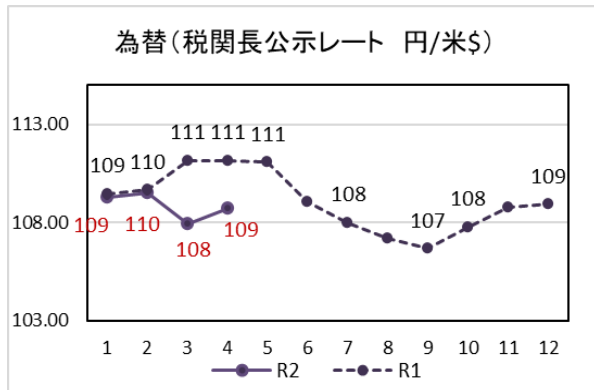
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸～日本（平均）為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/ト)

